



## みのり図書室だより

2023年10月27日  
大森みのり幼稚園  
図書室 柄澤可奈子



秋の壁面「むしたちのおなががかい」

### 読書の秋です！

10月に入りやっと秋らしくなってきましたね。秋晴れの気持ちの良い日が続いていますが、みなさまもお変わりなくお過ごしでしょうか。

9月から年中さんの貸し出しが始まりました。この日を楽しみにしてくれた子どもたちも多かったようです。「図書室での決まり」・「絵本の貸し出し手順」(下記参照)を貸出し初回に子どもたちに説明をしました。お子さんが持ち帰った絵本をご家族でお楽しみいただけでしょうか。

図書室では、幼稚園の行事に関連した絵本、季節のおすすめ絵本などを、図書室に入った正面の壁面に飾っています。今年度は年長・年中さんの貸し出しの前にその絵本の紹介をしています。紹介した絵本を机に置いておくと、興味を持ち借りていく子もいます。今後も色々な絵本を紹介して子どもたちの世界を広げていければと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

<お願い>ネームタグにクラス名が未記入の方は記入をお願いいたします。



#### 図書室の決まり

- ① 静かに読みましょう
- ② 図書室では走らないようにしましょう
- ③ 本は丁寧に扱きましょう
- ④ 本は1冊ずつ読みましょう  
読み終わったら元の場所に戻してから次の本を読みましょう

#### 絵本の貸し出し手順

- ① 図書室で自分のバックを受け取る
- ② 借りたい絵本を1冊選ぶ(年長は2冊)
- ③ 先生に本の番号チェックをしてもらう  
**「お願いします」**
- ④ チェックしてもらった本を受け取る  
**「ありがとうございます」**
- ⑤ 本を受け取りバックに入れる



### ぐりとぐら誕生60周年

「ぐりとぐら」の絵本が誕生してから今年で60年を迎えました。

出版社の福音館ホームページ (<https://www.fukuinkan.co.jp/guritogura/>) でもぐりとぐら60周年について掲載されていますのでご興味ある方はのぞいてみてくださいね。

「ぐりとぐら」の始まりは1963年の幼児向け月間絵本「こどものとも」への掲載です。全部で7作出版されています。定期的に出版されたのではなく、じっくり時間をかけて良いものができたら出版されてきました。今では世界10か国語に翻訳されていて日本を代表する絵本シリーズです。これだけ長い間、愛され続けているのは2匹のキャラクターが魅力的なこと、テンポのよいストーリーなどいろいろありますが、みんなで楽しく食事をしているシーンも見どころの一つだと思います。作者の方もみんなで食事をするこの大切さを絵本を通して伝えたいとの思いもあったようです。

今回は「ぐりとぐら」からシリーズの中で初めて人間の女の子すみれちゃんが登場するお話を紹介します。すみれちゃんのモデルとなった4歳の女の子は病気で亡くなりましたが、生前「ぐりとぐら」が大好きだったそうです。

絵本の中ですみれちゃんに楽しい時間を過ごしてほしいとの願いが込められた絵本です。大きなかぼちゃも登場しますので今の季節にもおすすめです。



#### ぐりとぐらとすみれちゃん

中川李枝子作 山脇百合子 絵  
ぐりとぐらのところにすみれちゃんが大きなりゅックにかぼちゃを入れてやってきました。さあ、みんなでかぼちゃ料理を作ってみましょう！何ができるかな？

## 絵本作家紹介 かがくいひろしさん

\*絵本はすべて図書室にあります。

今回、紹介する作家は絵本「だるまさん が・の・と」の作者かがくいひろし（1955年～2009年）さんです。今年は地方で「かがくいひろしの世界展」(kagakuihiroshi.com)が開催されています。個人的にも大好きな作家さんで、展覧会も見に行きたかったのですが残念ながら東京では開催されていません。かがくいさんの作品は絵本のページをめくって絵を眺めるだけで心が和む不思議な力があります。かがくいさんは特別支援学校の先生を経て絵本作家になりましたが、作家としての活動はわずか4年です。

その間に出版された絵本は15冊（没後1冊）です。今でも未発表の作品が編集さんの手元に残っていてお亡くなりになる直前まで絵本のアイデアがたくさんあったそうです。ご存命であれば楽しい作品をたくさん私たちにを見せてくれたことでしょう。でも残された16冊の絵本はどれも本当に魅力的で、何度も読んでみたいと思える作品です。その証拠にすべての絵本が今も出版されていますので、これからも長く読み継がれていくでしょう。私が一番初めに読んだ作品は「おもちのきもち」です。鏡餅が逃げ出すという斬新なストーリーと愛嬌のある絵に一気に引き込まれました。どのキャラクターも少しとぼけた表情で、どこことなくかがくいさんに似ているような気がします。今回は「だるまさん」以外の13冊を一気にご紹介します。皆さんも是非、かがくいひろしさんの世界を楽しんでみてくださいね。



### おもちのきもち

講談社

お正月に床の間に置かれている鏡餅。食べられるのがいやで床の間から逃げ出します。逃げ出したのはいいけどお腹がすいて・・・



### まくらのせんになんさんぼみちの巻

佼成出版

まくらの仙人様とお供の2人(かけさん、しきさん)が寒さに震え困っている人たを温めてあげます。お布団のぬくもりが感じられる1冊です。



### まくらのせんになんそのあなたの巻

佼成出版

仙人とお供の2人が散歩をしていると穴から抜けられなくなった動物たちがいました。「これは、ただごとでないな」そのあなたにたのむしかない？



### ふしぎなでまえ

講談社

お腹がすいたじゃがさんとさつまさん。出前を取ることにしたのですが、やってきたのは「ふしぎなでまえ」2人は食べたいものがたべられるかな？



### おしくらまんじゅう

ブロンズ新社

かわいい紅白頭頭が主人公。こんにゃく、納豆などいろいろなものにおされてぎゅーみんなどうなってしまうでしょう？



### はっきよい畑場所

講談社

豊作御礼。野菜たちの大相撲はじまりはじまり！結びの一番は両横砂対決。果たして、軍配はどちらにあがるでしょうか？



### おむすびさんちのたうえのひ

PHP出版

今日は田植えの日。近所の人もたくさんお手伝いに来てくれます。一生懸命働いた後はお昼ごはん。昔ながらの田植えの様子を楽しく描いています。



### なつのおとすれ

PHP出版

カタツムリの天気予報士が梅雨明けが近いことを伝えます。太陽がみんなに伝えようと立ち上がると、スイカ・メロン・カブトムシたちが夏に向かって走りだしました。



### もくもくやかん

講談社

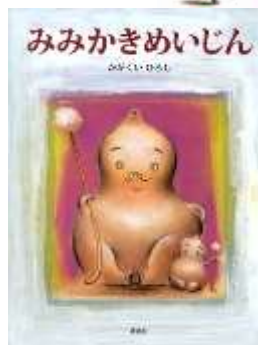
やかん、ポット、じょうろに急須が集まっています。「いちについていきますよー」やかんが「ぶしゅー。もくもく」なにがはじまるのでしょうか？



### おふとん かけたら

ブロンズ新社

たこさん、まめさん、ソフトクリームさん、おふとんかけたらどんな寝相になる？寝る前に読んでみてね。



### みみかきめいじん

講談社

みみかきやのひょううーたん先生とひょううけ。今日もお客さんの耳かきです。初めにやってきたのは大きなぞうさん。どうやって耳かきをするのでしょうか？



### うめじいのたんじょうび

講談社

今日は梅じいさんのお誕生日。みんなでお祝いしたいのですが、いったい何歳になったのかわかりません。本人に直接聞いてみることにしたのですが、うめじいの言葉がわかりません。さあ、どうする？



### がまんのケーキ

教育劇画

タイトルの通り、おいしそうなケーキを目の前にしてひたすらがまんするお話。ずーっと見ているだけなんてつらいですね。早く食べたい！